

まちの駅たかおか復活

カフェ充実、手作り品も

高岡市駅南4丁目の交流施設「まちの駅たかおか」が、「まちの駅たかおか」

高岡市駅南4丁目の交流施設「龍の門」としてリニューアルオープンした。新たにカフェメニューを充実させ、福祉施設の利用者のハンドメイド品も取り扱い、憩いの場を

指す。

まちの駅たかおかは、県福祉旅行センター社長の伏江努さん(68)らが2000年に開設した。スタッフの退職で昨年閉業したが、伏江さんがコロナ禍の中で地域に貢献しようと、自ら駅長となり、「手作り、福祉、交流」をテーマに改装し、再開することにした。

障害者支援施設の利用者が作った小物、菓子などを置いた。市内の作家が制作した雨晴海岸のステンドグラスを飾り、くつろぎやすい空間とした。

伏江さんは「イベントを開くなどして、出会いの場にしていきたい」と話した。営業時間は午前10時～午後4時で火、水曜定休。

客と会話を弾ませる駅長の伏江さん(左)＝高岡市駅南4丁目

